

令和 6 年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

○第 3 期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率 110%以上
A	// 100%以上110%未満
B	// 85%以上100%未満
C	// 70%以上 85%未満
D	// 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

令和6年12月末時点

令和6年度 各部署のスポーツ関連施策の取組状況

担当部署 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和6年度の当初計画	令和6年度を取り組み状況 【R6年12月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達目標)	R6年度の到達 目標に対するR6 年12月末の到達 状況
総合企画部 (中山間地域対策課)	【施策の柱】 スポーツを通じた活 力ある県づくり 【施策の方向性】 (4) 産学官民 によるスポーツを支 える体制の充実 【具体的な施策】 33ページ	(1) 集落活動センター推進事業費補助金 ・補助制度(センター立ち上げの際の初期投資や、既存センターでの取り組みの拡充等を支援)を活用し、スポーツ合宿の受入体制整備を支援 (2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり ・観光振興スポーツ部等と連携し、スポーツ合宿の受け入れに向けたPRを実施	(1) 集落活動センター推進事業費補助金 ・地域本部等を通じて、市町村や集落活動センターに補助制度を周知 ⇒現時点で補助制度の活用なし(スポーツ合宿関連) (2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり ・連携内容についてスポーツ課、地域観光課と協議(5月～) ・土佐巡りの配布によるPR 市町村、観光協会(5月) 県内の道の駅、観光施設(6月) スポーツイベント「あそびバ in 高知」 (西部:6/15、中部:6/22、東部:6/23) 【受入実績(12月末見込み)】 ①宿泊(3施設)※一般の受け入れ含む 集落活動センターあいの里蜷川(※延べ832人泊) 集落活動センターかきせ(※延べ455人泊) 集落活動センターおちめん(※延べ1,542人泊) ②食の提供(4施設) ＜土佐西南大規模公園＞ 集落活動センター北郷(延べ25回1,187食) 集落活動センターかきせ(延べ5回228食) 集落活動センター佐賀北部(延べ3回325食) ＜須崎市立スポーツセンター＞ 集落活動センターうらのうち(※延べ39回5,765食)	(1) 集落活動センター推進事業費補助金 既存センターにおいては、マンパワー不足により、これ以上のスポーツ合宿の受け入れは難しい状況。 今後、新たにスポーツ合宿などの宿泊事業を検討するセンターに対しては、補助制度を活用した施設整備を提案し、受入体制の充実を図る。 (2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり スポーツ合宿は夏休みや冬のオフシーズンに集中しており、受入数をさらに拡充していくためには、合宿の分散化に向けた誘致が必要。 引き続き、市町村や観光振興スポーツ部と連携したPRを実施することで、宿泊施設としての認知度の向上を図り、通年における宿泊受入数の増加に取り組む。 加えて、合宿の受入に必要なノウハウを習得するため、専門家による助言や研修会への参加等を通じて、宿泊者の満足度の向上につなげ、リピーターの獲得に取り組む。	●スポーツによる県内の交流人口が拡大している ●スポーツによる県外からの誘客が増加している KPI:延べ宿泊者数 R9:4,000人 (R6見込:3,600人)	—
総合企画部 (交通運輸政策課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (3) 障害者がスポーツに親しめる環境づくり 【具体的な施策】 22ページ	(1) 公共交通活性化支援事業費補助金 ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施(R6当初要望 購入5両、低床化改造2両) ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施(R6当初要望 なし) (2) バス運行対策費補助金 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者、低床車両導入に対する補助を実施(R6当初要望9両)	(1) 公共交通活性化支援事業費補助金 ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入(当初要望5両) ・申請状況:5件(現状、5両の申請あり) ・導入予定時期:R6.12月～R7.3月 ○低床化改造(当初要望2両) ・申請状況:2件(現状、3両の申請あり) ・導入予定時期:R7.3月 ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施 補助制度について、市町村担当者会(7月)において活用事例も含めて周知。 ○バス待合所トイレのバリアフリー化(当初、要望なし) ・申請状況:1件 ・導入予定時期:R7.1月 (2) バス運行対策費補助金 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入(当初要望9両) ・申請状況:3件(現状、10両の申請あり) ・導入予定時期:R6.10月～12月	(1) 公共交通活性化支援事業費補助金 ①低床車両導入に対する補助 本県の低床車両導入率は、事業者が車両を購入するだけの資金余力がないなどの要因もあり、42.5%と四国平均(62.89%)を下回る状況(R5.3末時点)。 事業者に対して、引き続きバリアフリー化の意義や乗降時の安全性の向上、乗務員の負担軽減といった効果など、バリアフリーに関する意識の醸成を図り、低床車両の導入を促進する。 ②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助 事業者から市町村に対して補助の要望はあるものの、補助にあたって費用負担が生じることが市町村が二の足を踏む原因となっている事例あり。 市町村担当者会等、機会を捉えて取組の趣旨、効果の周知徹底を図ることにより、バリアフリー化を進めていく。 (2) バス運行対策費補助金 (1) ①と同じ	●障害者のスポーツ参加が拡大している	—

令和6年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和 6 年度の当初計画	令和 6 年度 の取組み状況 【R 6 年11月末時点】	課題と今後の取組み予定	目指すべき姿 (令和 9 年度の 到達目標)	R 6 年度の到達目 標に対するR 6 年 12月末の到達状 況
健康政策部 (保健政策課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (6) スポーツを通じ た健康増進や生きがい づくり 【具体的な施策】 25ページ	(1) 高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加 機会の拡充 ①健康パスポート事業を活用した総合型地域 スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報 ②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘル シーポイント付与） ・ウォーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、 県内運動施設利用でヘルシーポイントを付与 ③健康パスポートアプリによるウォーキングの促進 ・1 日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩 くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レ ベルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウォーキングイベント等の実施（年 間 3 回実施予定） ④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、 健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対する スポーツイベント等の情報発信 ⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ等による啓発 ※KPI（R 6 年度目標値）： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）→16,492 件 ・日常生活における歩数 20-64歳（男女）：8,000歩 65歳以上（男女）：6,000歩 ※代替指標（県民世論調査）：1 日の平均歩数 8,000歩未満の割合減少	(1) 高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加 機会の拡充 ①健康パスポート事業を活用した総合型地域 スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報 →スポーツクラブ利用者によるヘルシーポイント付与 R 6 年（11月末時点）：のべ11,823人（R 5 年度対比97.3%） ②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘルシー ポイント付与） ・ウォーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、県 内運動施設利用でヘルシーポイントを付与 →のべ136,435人が参加・利用（11月末時点） ③健康パスポートアプリによるウォーキングの促進 ・1 日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩 くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レベ ルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウォーキングイベント等の実施 7 月：オリンピック・パラリンピック応援イベント 9 月：健康チャレンジコラボイベント 11月：四国対抗ウォーキングイベント（個人） 事業所対抗ウォーキングイベント（事業 所） ④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、 健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対するスポーツイ ベント等の情報発信：5 回（11月末時点） ⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ（運動編）：テレビ放送 4 回 ※KPI： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）（R 6 年11 月末）→20,504件 ・日常生活における歩数（R 6 年度） ※代替指標（県民世論調査）：1 日の平均歩数 8,000歩未満の割合：67.7%	(1) 高知家健康パスポートと連携 したスポーツ参加機会の拡充 【課題】 ・男女とも歩数が少なく、全国平均 を下回っている。 ・アプリダウンロード件数は順調に増 加しているが、女性に対して男性の 件数が少ない。 【今後の取組み予定】 ・職場と連携したイベントを通じダウ ンロード件数を増やし、運動に取り組 んでいただく。	◆健康管理に取り組む 人が増え、運動習慣 など保健行動の定着 が図られている。 （R 9 年度目標） ・パスポートアプリダウ ンロード件数（男 性）：20,000件 ・日常生活における歩 数 20-64歳（男 女）：8,000歩 65歳以上（男 女）：6,000歩	・パスポートアプリダウ ンロード件数 （男性）： S（進捗率 124.3%）

令和6年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和6年度の当初計画	令和6年度の取り組み状況 【R6年12月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達 目標)	R6年度の到達目標 に対するR6年12月 末の到達状況
子ども・福祉政策部 (長寿社会課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (6) スポーツを通 じた健康増進や生き がいづくり 【具体的な施策】 20、25ページ	(1) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 高齢者が健康で生きがいをもって社会生活ができるよう な各種取り組みを支援することにより、高齢者福祉の 推進を図る。 ①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 ・大会の開催 種目別競技会(20種目)の開催(4月～6月) ②ねんりんピックへの選手派遣支援 (高知県社会福祉協議会への補助金交付) ・ねんりんピック鳥取：開催期間10/19～10/22 総合開会式(10/19) 競技会(10/19～ 10/22) ③ろうれんピック開催支援 (県老人クラブ連合会への補助金交付) ・開催日 東部大会(安芸市) 室内競技 5/31 屋外競技 10/8 中部大会(高知市) 全競技 10/16 西部大会(黒潮町) 室内競技 6/13 (会場未定) 屋外競技 10/25	(1) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 ①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 種目別競技会(20種目)の開催(4/13～6/1) 17種目(健康マージャン、囲碁、将棋を除く)の開催 ・参加者数 892 【4/13】剣道 【5/9】水泳、マラソン、ゲートボール、ターゲット・バードゴ ルフ、グラウンド・ゴルフ、卓球、太極拳、ソフトボール、ソフ トテニス、ペタンク 【5/10】パーク・ゴルフ 【5/11】ボウリング 【5/16】テニス、ソフトボール 【5/19】バウンドテニス 【5/26】ソフトバレーボール 【6/1】弓道 ②ねんりんピックへの選手派遣支援 ねんりんピックはばたけ鳥取2024(10/19～22) ・総合開会式(10/19) 競技会(10/19～22) ③ろうれんピック開催支援 東部大会(安芸市) 室内競技 5/31 (安芸市) 屋外競技 10/8 中部大会(春野総合運動公園) 全競技 10/16 西部大会(黒潮町) 室内競技 6/13 (黒潮町) 屋外競技 10/25	(1) 高齢者の生きがいと健康 づくり推進事業 こうちシニアスポーツ交流大会や ろうれんピックについては、新型コロ ナウイルス感染症拡大により大幅 に減少した参加者数が回復して いない。 こうちシニアスポーツ交流大会につ いては、今年度の振り返りと来年 度開催に向けて、競技団体を含 めた実行委員会を2/6に開催予 定。 大会はねんりんピック(R7開催 地：岐阜県、開催期間： 10/18～21)への派遣選手の 選考会を兼ねており、来年度は 4/12～5/18に開催予定。 高齢者の継続的な健康づくりを 推進するため、引き続き各市町 村の老人クラブにおける健康づくり や介護予防の取り組みを支援す る。	◆スポーツを通しての交 流を図り、健康づくりや 介護予防につなげる。 高齢者が健康で生き がいをもって社会生活 ができるようになる。	—
土木部 (公園上下水道課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (1) 身近な地域 でスポーツに親しめる 場の拡充 【具体的な施策】 20ページ	1 春野総合運動公園 ・陸上競技場:第1種公認の継続 走路等の改修 用器具の整備 ・屋内運動場の整備 2 土佐西南大規模公園(大方) ・球技場等の:時計台の整備	1 春野総合運動公園 ・陸上競技場:第1種公認の継続 走路等の改修【完了】 用器具の整備【納品済】 ・屋内運動場の整備 【設計・積算中】 2 土佐西南大規模公園(大方) ・球技場等の時計台の整備【施工中】	・着実に整備等を進めていく	—	—

令和6年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和6年度の当初計画	令和6年度の取り組み状況 【R6年12月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達目標)	R6年度の到達目標に対する R6年12月末の到達状況
教育委員会 (保健体育課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (1) 身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充 【具体的な施策】 19ページ	(1) 運動部活動指導員配置事業 ・公立学校の運動部活動指導体制の充実を推進し、担当教員の支援を行うとともに運動部活動の質的向上を図るために、適切な練習時間や休養日の設定など運動部活動の適正化に向けて、単独で指導・引率等のできる部活動指導員を配置する。 【R6目標】 ・部活動指導員配置数の増加 (R5 : 132人)	(1) 運動部活動指導員配置事業 ・運動部活動指導員の配置状況 【高等学校】 2 3校 6 8部 6 7人 【県立中学校】 2校 3部 3人 【市町村立中学校】 1 5市町村 3 7校 9 4部 6 6名 計136名 ・県立学校の配置に係る研修 (オンデマンド) ・指導力向上研修会 (10/27) 運動部活動指導員の指導力向上を目的とし、大阪体育大学土屋教授を講師に迎え開催。 運動部活動指導員のさらなる指導力の向上に繋げるため、「選手のやる気を引き出すメンタルトレーニング」と題して、コーチングの新たな潮流や、No ! スポハラ等について講義を行った。	(1) 運動部活動指導員配置事業 ・実績報告書の作成 高等学校、中学校ともに、単独指導率など各校の執行状況を報告書等で確認し、次年度の取組に繋げる。	◆部活動顧問の負担軽減が図れているなど、運動部活動の課題に対する具体的な対策が実施され、子どものスポーツ活動機会が確保されている。	A
	【施策の柱】 競技力の向上 【施策の方向性】 (1) 全国や世界を目指す選手の育成 【具体的な施策】 27ページ	(2) 県立学校運動部活動活性化事業 ①県立学校の運動部活動の充実及び競技力の向上を図るため、レベルの高い専門的な知識を持つ指導者やスポーツ医科学の専門家を派遣する。 【R6目標】 ・生徒の知識や技能の向上につながった割合 90% ・顧問及び運動部活動指導員の指導力向上につながった割合 90% ②全国レベルの競技力の維持向上を目的とした環境整備を行うため、前年度の全国高等学校総合体育大会等において上位入賞した部へ、練習用具購入の補助を行う。 【R6目標】 ・実施部活動数の増加 (R5 : 5校5部)	(2) 県立学校運動部活動活性化事業 ①- 1 競技団体から専門の指導者の派遣 ・2校2部 岡豊 (ソフトボール) 高知工業 (卓球) 各校10回 ①- 2 スポーツ医科学の専門家の派遣 ・1校2部 高知工業 (空手、ラグビー) 各10回 ②全国レベルの競技力の維持、向上 ・7校7部 高知農業 (陸上) 高知国際 (弓道) 高岡 (レスリング) 山田 (陸上) 岡豊 (女子バスケットボール) 須崎総合 (カヌー) 高知小津 (ライフル)	(2) 県立学校運動部活動活性化事業 ・各部署で年度末検証を実施し、県教育委員会へ報告 (～3月)	◆専門的な知識を持つ指導者等の派遣により、生徒の知識や技能が向上するとともに、顧問及び運動部活動指導員の指導力が向上する。 ① ・生徒の知識や技能の向上につながった割合 90%以上 ・顧問及び運動部活動指導員の指導力向上につながった割合 90%以上 ② ・実施部活動数 8校8部	— (R7.3月調査) S

令和6年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和6年度の当初計画	令和6年度の取り組み状況 【R6年12月末時点】	課題と今後の取り組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達目標)	R6年度の到達 目標に対するR 6年12月末の 到達状況
教育委員会 (保健体育課)	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (身近な地域でスポーツを楽しめる場の拡充) 【具体的な施策】 20ページ	(3) 県立学校体育施設開放事業 県民の日常的なスポーツ活動を促進するため、身近な施設である県立学校体育施設を開放する。	(3) 県立学校体育施設開放事業 ・県立学校体育施設の開放状況 9市3町18校27施設63団体	(3) 県立学校体育施設開放事業 ・事業の実施(～3月)	◆県立学校体育施設の開放数が増え、利用者が増加している。	—
	【施策の柱】 スポーツ参加の拡大 【施策の方向性】 (1) 身近な地域でスポーツに親しめる場の拡充 【具体的な施策】 19ページ	(4) 部活動地域連携等支援事業 ・拠点校部活動の推進、休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、各市町村教育委員会、学校、関係機関と連携し、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保など総合的に取り組む。 【R6目標】 (第4期高知県教育振興基本計画) ・県中体連申請数 拠点校部活動：2部活動 地域クラブ：8クラブ	(4) 部活動地域連携等支援事業 ・部活動地域移行の実証事業(4市町) ・拠点校部活動の実証事業(2市町) ・高知県部活動ガイドラインの改訂及び本年度事業に係る説明会の実施(各市町村担当者対象) ・県教育委員会の各市町村への訪問及び協議会等への参加 ・県中体連申請数 拠点校部活動：4部活動 地域クラブ：19クラブ ・(県中体連申請以外の)市町村教育委員会認定地域クラブ：5クラブ	(4) 部活動地域連携等支援事業 ・次年度には、県中体連への拠点校部活動や地域クラブの申請がさらに増加する事が見込まれる。 そのため、今後も各市町村への訪問等を通じて、子どもの活動機会の確保に向けた環境の整備について、市町村と連携を図っていく。 ・部活動の地域連携等の在り方に関する検討会議の実施 ①高知県における部活動地域連携・地域移行検討会議(2/12) ②部会の開催 ・地域連携検討部会(1/21) ・地域移行検討部会(1/24) ③地域移行実証事業に係る事業報告会及び市町村意見交換会(2/18)	◆中学生がそれぞれのニーズに応じた活動を選択できるような環境を確保できている。 ◆県内全市町村にて、部活動改革について検討し、それぞれの地域の実情に応じた対応を行っている。	S